

【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2023年9月20日
明治大学の所属学部・研究科	総合数理学部現象数理学科 (学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年9月18日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学デービス校(日本語名) University of California, Davis(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年6月～2023年9月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 6 月下旬～8 月上旬 2 学期: 8 月上旬～9 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 31200 人
創立年	1905

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	8550	1187425 円	
宿舍費	3070	445150 円	
食費	400	60000 円	
図書費	150	11950 円	
学用品費	20	3000 円	
携帯・インターネット費	80	12000 円	
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	300	45000 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	0	0 円	形態:
渡航旅費	800	120710 円	航空会社のマイルを使用
ビザ申請費	510	73950 円	
雑費	100	15000 円	
その他		28265 円	海外旅行保険費用
その他		円	
合計	13630	1999450 円	1ドル 150 円換算

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田国際空港 目的地:サクラメント国際空港 経由地:サンディエゴ国際空港	
復路 出発地:サンフランシスコ国際空港 目的地:東京国際空港 経由地:なし	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:日本航空、アラスカ航空 料金:75460 復路 航空会社:日本航空 料金:45250 ∴合計:120710	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

 学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

 個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

 バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

このプログラムでは留学先大学でグローバルスタディプログラム(GSP)の学生になるのだが、そこで住居探しとして紹介されたサイト(Davis Housing Service)で Google Form を通して申し込んだ。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私の場合は、ホストマザーが一人暮らししている家にホームステイをした。とても優しく接してくれた。大学の寮よりも安く滞在することができるのでおすすめである。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

 なし
 あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

 なし
 あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

デービスでは大学のメールにて犯罪情報が送られてくるのでそれを参考にしていた。防犯対策としては、夜は一人で出歩かないようにしたり、カバンを取られないように注意していた程度だった。デービス市内はかなり安全な方なので、日本と同じ防犯対策をしていれば良いと思う。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホームステイ先の家でもかなり回線の強い WIFI を提供してくれていたの、困ることはなかった。そのほか、4G、5G 回線も問題なく接続できた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の Chase 銀行にて銀行口座を開設して日本から送金してもらった。パスポートとビザを取るときに使用する I-20 という書類を持って Chase 銀行の支店にアポイントを取って行けば口座を開設することができる。ホームステイ代を主に送金してもらい、日々の生活にはクレジットカードを使用していた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

生活雑貨全般だと思う。爪切りや耳かきなど自分が使いやすい小物などはアメリカに売っていない場合が多いので、持っていったら良いと思う。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前の5月中旬にクレジットカード一括で支払った。また、ビザの必要単位数の12単位を超えて授業をとると1単位につき350ドルかかる。私は13単位の授業をとったため、残りの350ドルを8月下旬に支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
General Physics7A	物理
科目設置学部・研究科	物理科
履修期間	Summer Session1 (2023/6/28~2023/8/4)
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面講義とディスカッションラボ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 140 分が 4 回
担当教授	Joseph Mitchell
授業内容	生物分野を専攻する学生のための物理学であるため、熱力学と統計力学を扱う授業であった。物理学の一番基礎の授業のため、バネを用いたポテンシャルエネルギーに関する力学を学んだ後、その力学系と統計力学における分子の結合エネルギーの関係性や熱力学第 2 法則について学んだ。
試験・課題など	試験は計 2 回、中間試験と期末試験があった。課題は毎回のディスカッションラボで 4~7 問の課題が出された。
感想を自由記入	ディスカッションラボでは 3~5 人のグループで実験や問題に関する議論を行った。現地のアメリカの学生と議論しつつ、学ぶのはとても楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
From the Wright Brothers to Drones and Quadcopters		ライト兄弟からドローンに至るまで	
科目設置学部・研究科	航空宇宙科学・航空宇宙工学		
履修期間	Summer Session1 (2023/6/28~2023/8/4)		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	Prof. Seongkyu Lee		
授業内容	航空機の歴史から、空気力学の概要、航空機のエンジンやモーター、プロペラなどの効率性、騒音問題とそれの解決方法など、空飛ぶ乗り物のさまざまな分野の事柄について学んだ。		
試験・課題など	試験は無かった。毎週課題があり、講義で学んだことと、航空機に関する記事を読んで学んだことを書くレポート課題が出された。また、航空機に関する事柄についての最終レポート課題もあった。		
感想を自由記入	興味を持っていた分野であったので、毎回の授業がとても楽しかったが、毎週1200wordsのレポートを書かなければならなかったのが大変だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Combinatorics		組み合わせ論	
科目設置学部・研究科	数学科		
履修期間	Summer Session2 (2023/8/7~2023/9/15)		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が3回		
担当教授	Tonie Scroggin		
授業内容	前半は順列や組み合わせの初歩的な部分、数学的帰納法による証明法などを扱った。後半は数列の母関数、グラフ理論について学んだ。		
試験・課題など	試験は中間試験と期末試験の2回だった。課題は毎回の授業に関する問題が2,3問出題された。また、教授が示した20種類ほどのトピックの中から学生が選んでグループを作り、それに関して発表するプレゼンテーションがあった。		
感想を自由記入	前半の授業は既習なことがほとんどだったが、数学における英語の表現を学ぶことができ良かった。授業では、生徒がかなりの頻度で質問するので、少々驚いた。時々、議論になっている時もあり、とても楽しい授業だった。またプレゼンではカタラン数というトピックを選び、このトピックを選んだもう一人の学生とプレゼンを行った。英語話者がいる中で英語でプレゼンするのはとても緊張したが、良い経験になったと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Evolution and Paleobiology of Dinosaurs		恐竜の進化と古生物学	
科目設置学部・研究科	地質学科		
履修期間	Summer Session2 (2023/8/7~2023/9/15)		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回		
担当教授	Mark DeBlois, Ph.D.		
授業内容	中間試験までの範囲では、恐竜の古生物学における歴史や化石の放射性年代測定法による絶対年代と示準化石による相対年代について、後半では恐竜の化石による分類や進化の過程について学んだ。		
試験・課題など	試験は中間試験と期末試験の計 2 回で、各試験の前に授業内容に関する課題が 2 つずつあった。		
感想を自由記入	余った 2 単位で興味を持った授業を受けようと思い、この授業を受けたが、恐竜の分類など興味深い内容が多く、とても楽しかった。鳥類の祖先是 Trex であるというのが一番印象深い。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Becoming a Global Collaborator: Innovative and Inclusive Ways to Address Global Challenges		国際的な協力者になる グローバルな課題に取り組む革新的かつ包括的な方法	
科目設置学部・研究科	海外教育プログラム		
履修期間	Summer Session2 (2023/8/7~2023/9/15)		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面ゼミ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回		
担当教授	Jolynn Shoemaker Elizabeth Langridge-Noti Tom Rosen-Molina Michael Lazzara		
授業内容	SDGs に関する説明が約 30 分その後グループワークという流れの授業であった。		
試験・課題など	毎回の授業に関する 150word 程度のレポートがあった。また学期の最後にプレゼンテーションと最終レポートがあった。		
感想を自由記入	プレゼンテーションでは現地の学生とグループを組み、持続可能な交通システムについて発表した。アメリカの風土から見る交通システムの問題点など日本と異なり、とても勉強になった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	明治大学入学
	8月～9月	
	10月～12月	明治大学での応募・選考
留学開始年	1月～3月	明治大学でのオリエンテーション、UC デービスへの出願登録
	4月～7月	UC デービスの入学許可、ビザ申請・取得、滞在先の確保、航空券購入、留学開始
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	Summer Session 1 の中間試験と期末試験
	8月～9月	Summer Session2の中間試験と期末試験、帰国
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

UC デービスは世界ランキングでも 100 位以内に入る有数の大学であり、またデービス市内の治安の良さからこの大学を選びました。大学の授業では先の学習についてのレポートでも記載した通り、現地の学生とディスカッションをする機会がたくさんあり、語学の壁は高く、困難に感じることも多かったですが、視野を広げることができとても良い体験をしたと思います。また留学生活では、アメリカの生活スタイルや学生の価値観、風土を体感することができ、とても学びが多かったように思います。ホームステイ先では中国やインドネシア、ベトナムからの留学生と共同生活をして、いろいろな価値観に触れられました。留学はとても貴重な経験ですし様々な出会いからいろいろな価値観を学ぶことができます。少しでも行ってみたいという人がいたら、迷わずぜひ飛び込んでみてください。

総合数理学部はとても留学がしにくい学部です。1 年次は必修が多く、3 年次からはゼミが始まります。しかし、教養科目が設定されているように見聞を広めるということは研究分野を決めたり、自然や社会についての問題を私たち自身で見出す上でとても重要です。大変ではありますが、ぜひ留学いろいろな体験をしてみてください。